

県政レポート

ほんまに やろなやかん!

白井ゆきのり 検索



Go! Go! 白井 ゆきのり



定例会議における、主な質問事項

(9月会議、11月会議)

- 人権に関する県民の意識調査の結果について
- 県庁職員を対象とした人権に関する研修について
- 部落差別解消推進法の施行に伴う、県条例の点検実施について
- 身元調査の現状の認識と今後の対策について
- 放火を含む火災予防に関する現状の認識と今後の取組について
- 放火犯罪から県民を守るという観点から、警察本部の取組について
- 骨髄バンクのドナー登録(滋賀県)の現状と課題について
- 「ドナー休暇制度」に導入に関する、現状の把握および啓発について
- 骨髄移植ドナーの公的支援について

Q 人権に対する県民の意識の変化と県条例の点検について

A 人権に関する県民の意識調査から、消極的な考えを持つ方の割合が増加傾向にあることは認識しています。一人一人がより一層の関心を持ち、自らの課題であるとの認識のもとに日常生活の様々な場面で具体的な実践に結びつけることが重要と考えており、必要な点検を実施します。

Q 骨髄ドナーの公的な支援について

A ドナーやドナーの家族には、様々な負担があると認識しています。ドナーになられた方の尊い善意が移植を待つ患者の元に一日も早く届くように、ドナーに対する助成制度について、来年度予算編成に向けてしっかりと検討します。また、ドナー休暇制度の導入についてもしっかりと県内企業に呼びかけていきます。

ご挨拶

2019年4月の初当選から、今日まで政治活動に取り組むことができましたのも、ご支援いただいた皆様のおかげでございます。深く感謝申し上げます。

9月、11月の県議会では、人権問題、防火対策、骨髄バンク登録、等に関する質問をいたしました。また、国内外の委員会や会派の視察を通じ、大規模な災害に備えた機能の充実や、教育やスポーツの環境の整備の必要性を強く感じました。

地域を取り巻く課題は山積みされていますが、それぞれに真摯に向き合い、皆様のご期待に添うべく職務に邁進してまいります。

何卒変わらぬご支援をよろしく申し上げます。

令和2年1月吉日

滋賀県議会議員

白井幸則



常任委員会視察(沖縄尚学高等学校)



自民党派視察(ハツ場ダム)



平和を祈る 核の時計

特別委員会視察(宍道湖)



元世界チャンピオン山中慎介氏とガッツ!!



自民党派視察(ハツ場ダム)



広島平和記念資料館 訪問



常任委員会視察(沖縄アリーナ)



議場 会派同期議員と

ゆきのりが行く!!

まごにメロメロ



代表質問

11月定例会議



質問者 佐藤健司 議員

1. 来年度当初予算の編成について
2. 防災対策について
3. 関西広域連合について
4. 移住施策について
5. 障害者による文化芸術活動の推進について
6. 琵琶湖の保全と活用について
7. 2025年を見据えた医療提供体制について
8. 滋賀県産業振興ビジョンについて
9. 農業・水産業における減災、危機管理について
10. 琵琶湖辺域の保全と利活用の推進について
11. 児童生徒の問題行動・不登校などについて
12. 文化財の防火対策について

文化財の防火対策について

Q 首里城の火災を受けた県の対応について

A 知事 10月31日の首里城火災を受け、文化庁からは同日付けで、防火管理等の点検・確認を至急行うよう文書が発せられ、同日、これを各市町に伝達をしたところ。本県には多くの貴重な文化財が所在することから、各市町に対し、別途、文化財の所有者、管理者への指導とともに、消防部局や地域住民等と連携・協力した防火体制の一層の推進を求める文書を、発出しているところ。

Q 個々の建造物の具体的な防火対策を立案し実施していく必要性について

A 知事 文化財建造物の防火設備は、一律に同じ設備を設置しているのではなく、個々の建造物の文化財的特徴や、その立地、周囲の環境、また所有者の管理体制などにより、個別に適した計画を立案し設置するよう指導を行っています。

本県は全国有数の文化財保有県であり、これらを火災から守り、次世代に確実に継承するため、引き続き、個々の文化財の状況に応じた設備の設置について、専門家の意見を踏まえながら所有者に対して指導を続けるなど、現在策定中の「文化財保存活用大綱」にも位置付け、しっかりと取組を進めてまいります。

活動記録



群馬県 ハツ場ダム視察



永平寺町 自動走行車両運行 実証実験

皆様の声を県政に届けるため全力で取り組んでいきます

()内は期数

